

原議保存期間1年未満
(平成29年3月31日まで保存)

警視庁生活安全部生活環境課長
各道府県警察(方面)本部環境事犯担当課長

殿

事務連絡
平成28年5月23日
警察庁生活安全局生活経済対策付理事官

(参考送付先)

警察大学校生活安全教養部長
各管区警察局広域調整(総務監察・広域調整)部広域調整第一課長

「愛護動物の対応要領」について

愛護動物の虐待等事犯に対する社会的関心が高まっていることから、愛護動物を取扱う可能性の高い地域警察官や会計部門の職員等においても、適切な対応が求められる。

そこで、別添のとおり「愛護動物の対応要領」を作成したので、教養に活用するなど執務の参考とされたい。

本件担当

生活経済対策管理官付

企画・諸法令係



愛護動物の対応要領

平成28年5月23日
警察庁 生活経済対策管理官

事例1

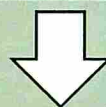
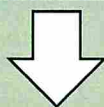
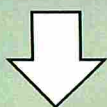
交番に「犬が道路脇で死んでいる。切られたような跡がある。」との通報があった。

事例2

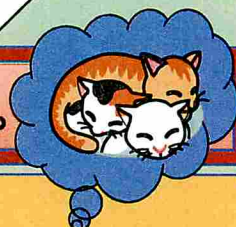
交番に「隣家が何日も不在だが、つながれた犬は餌がなく衰弱している。」との通報があった。

事例3

会計課に「公園で箱に入れられた子猫が捨てられていたので、拾ってきた。」と届出があった。

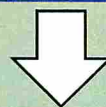
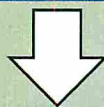
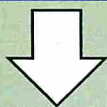


交通事故？犬の飼い方の問題？捨て猫？**犯罪の可能性が**あります。



<愛護動物とは>

- 牛、馬、豚、めん羊、山羊、犬、猫、いえうさぎ、鶏、いばと及びあひる
- 前に掲げるものを除くほか、人が占有している動物で哺乳類、鳥類又は爬虫類に属するものをいいます（※ 飼い主のいない野良犬や野良猫でも対象となります。）。



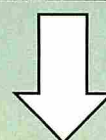
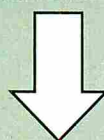
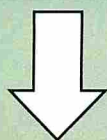
<違反行為>

理由なく殺し又は、傷つけた者「**殺傷**」

理由なく給餌・給水をしないで衰弱させた者「**虐待**」

生命・身体に危険が及ぶ状態に置いた者「**遺棄**」

動物の愛護及び管理に関する法律(第44条)違反



<対応要領>

- ① 早期現場臨場
- ② 愛護動物の保護(保健所、動物愛護センターとの連携)
- ③ 採証活動、目撃者の確保

